

令和7年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	12	学校名	静岡県立三島北高等学校	校長名	松下 明子
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	基本的生活習慣の確立と心身の健康の保持・増進、豊かな人間性の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を守るように心がけている生徒 95%以上※ ・整備委員会による環境美化週間の実施 各学期1回 ・生徒による挨拶や服装に関する生活キャンペーンの実施各学期1回 ・挨拶をしっかりとるように心掛けている生徒 90%以上※ ・保健だよりの発行 月1回 ・体調が心配な生徒に関する担任と養護教諭の情報共有 100% ・信頼できる先生がいる生徒 90%以上※ ・部活動や学校行事に熱心に取り組んでいる生徒 95%以上※ 	<ul style="list-style-type: none"> (教務課 学年部：A) <ul style="list-style-type: none"> ・時間を守るように心がけている生徒 98% (保健課：A) <ul style="list-style-type: none"> ・各学期1回環境美化習慣を実施できた。 (生徒課：A) <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動として各学期1回ずつ実施した。 ・日頃から挨拶を心掛けていると回答した生徒 93% (保健課：B) <ul style="list-style-type: none"> ・月1回保健だよりを発行することができた。 (相談室 学年部：A) <ul style="list-style-type: none"> ・教員を信頼できている生徒 93.6%。 (生徒課：A) <ul style="list-style-type: none"> ・部活動や学校行事に熱心に取り組んでいると回答した生徒 95%。 	A	<ul style="list-style-type: none"> (教務課) <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より0.4%上昇し、多くの生徒は時間を守っているが、8時10～12分頃に昇降口を通過する生徒が一定数いる。 (保健課) <ul style="list-style-type: none"> ・清掃用具の整備とカーテン管理を実施できた。今後も継続して取り組みたい。 (生徒課) <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶運動はHR代表を中心に各学期1回実施し、有志の部活動生徒も参加して積極的に声掛けできた。 ・次年度も継続して挨拶の大切さを指導したい。 (保健課) <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止の対応は毎年の課題として残っている。ICTによる健康観察を実施し休日の状況も把握できたが回答率を上げることも課題である。 (相談室) <ul style="list-style-type: none"> ・昼休みの教育相談室開室はほぼ100%であり、弁当持参で来室する生徒も見られた。 ・困り感が重く臨時のSC来校が多かったが、希望者にはほぼ全員対応でき、不登校生徒には初めてオンラインで実施できた。 ・月1回の教育相談室連絡会議を通して、カウンセリングやケース会議、外部連携へ繋げることができた。 (生徒課) <ul style="list-style-type: none"> ・部活動では20部が県大会以上へ出場した。

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> ・図書年間貸出数4～12月集計2000冊以上 ・朝読書の意義を理解し積極的に取り組んでいる生徒 90%以上※ ・生徒の満足度 90%以上※ 	<p>(図書課：A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月31日現在で貸出数2307冊となっている。 ・朝読書に積極的に取り組んでいる生徒 90% 		<p>(図書課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出数が目標を達成した要因は、開館時間の前倒しや臨時出張図書館の設置、教科書展示、司書の勤務時間拡充により、本に触れやすくなり利用機会が増えたためと考えられる。 ・呼びかけにより朝読書の目標を達成した。
イ	<p>確かな学力と幅広い教養の育成に資する学習指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理解を深める工夫をしている授業 90%以上※ ・主体的な活動や生徒同士の対話がある授業 90%以上※ <p>・1年:家庭学習時間平日平均 90分以上の生徒 70%以上※</p> <p>2年:学校、塾等の与えられた課題以外で、自ら学習に取り組んだ生徒</p>	<p>(各教科：B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解を深める工夫をしている 96.1% 主体的な活動や生徒同士の対話がある授業と答えた生徒 96.2% ・段階的な指導により、最終学年の選択授業では生徒が主体的に練習や試合の計画・実践・反省を行える力が身につけている。 <p>(情報室：B)</p> <p>各HRにiPadを2台配備したことで、端末を忘れた生徒への貸出がスムーズになった。</p> <p>(教務課：A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年が上がるにつれて家庭学習時間と主体的学習の割合が増加しており、特に3年生は平日・休日とも学習時間が長く、90分以上学 	B	<p>(各教科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業意欲は高いが家庭学習への意識が低いため意欲を高める課題設定を工夫したい。 ・教具や問いを工夫して主体的な活動を促し、個々の能力に応じて活動のタイミングを精査する必要がある。 ・授業アンケートではペア・グループ活動は好評だが、学力定着については引き続き確認が必要である。 ・ICTを活用して視覚的に分かりやすい授業を行い、主体的な学びを促しつつ、明確な課題提示で家庭学習の個人差を改善したい。 ・体育では、運動と保健を関連付け、健康管理まで含めて学べる工夫が必要である。 ・模試の得点と生徒アンケートを照合した分析と指導改善が求められるが、現状は不十分である。 ・3年次の講習等の効果が外部模試に反映されているかの検証が必要である。 <p>(情報室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器の老朽化に伴い、OSのアップデートができない端末が出てきている。関係各所と調整していきたい。 <p>(教務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生：家庭学習時間の平均は、現2年生と比べて減少している。一方で、「与えられた課題以外にも自ら学習に取り組む生徒」は66.5%おり、

様式第3号

		<p>徒 70%以上※ 3年:学校、塾等の与えられた課題以外で、自ら学習に取り組んだ生徒 90%以上※</p> <p>・校内研修の実施 年3回以上(「学びの基礎診断」の結果分析を含む)</p> <p>・授業参観を年2回実施</p>	<p>習する生徒や自主学習に取り組む生徒の割合が非常に高い。</p> <p>・家庭学習時間の全校平均は平日 2.3 時間、休日 4.7 時間であるものの、1 年生は平日 90 分以上学習する生徒の割合が 56.2%にとどまり、成果目標は未達成である。</p> <p>(研修課：A)</p> <p>・校内研修として、定期訪問研修、「学びの基礎診断」研修、「行きたい学校づくり」学校訪問報告研修を行った。</p> <p>・相互授業参観強化月間を6月と 11、12 月に実施した。</p> <p>(各教科：B)</p> <p>・授業の相互参観、情報交換を密にして連携の取れた授業実践が行われた。</p>	<p>学習への意識は一定程度見られる。</p> <p>・2年生：家庭学習時間の平均は、現 3 年生と比べて増加している。また、「与えられた課題以外にも自ら学習に取り組む生徒」も目標値を上回っている。『受験シラバス』は一定の成果を示していると考えられることができる。</p> <p>・3年生：家庭学習時間の平均は、昨年度卒業生とほぼ同じである。また、「与えられた課題以外にも自ら学習に取り組む生徒」も目標値を上回っている。</p> <p>・特に低学年で、自発的な学習姿勢の涵養が課題である。</p> <p>(研修課)</p> <p>・多様な研修を適切なタイミングで実施することができた。</p> <p>・相互授業参観強化月間での、自分の教科見学数は延べ 53(前年 54)、他教科見学数は延べ 22(前年 23)。教科横断的指導の推進の観点から、他教科の見学を呼びかけ、促進を図りたい。</p> <p>(各教科)</p> <p>・体育授業では思考ツールや ICT の活用が少なく、種目や場面に応じた効果的な活用方法の検討が課題である。</p> <p>・校内研修や相互授業参観を通して、授業づくりや指導の工夫を共有し、授業力向上を図った。</p>
ウ	<p>高い志と自律の精神に基づく自己実現を支援する進路指導</p>	<p>・将来に対する明確な夢や目標を持っている 3 年生 70%以上※</p> <p>・学校は適切に進路情報を提供していると思う生徒 80%以上※</p>	<p>(進路課 学年部：A)</p> <p>・将来に対する明確な夢や目標を持っている 3 年生 86.7%</p> <p>・学校は適切に進路情報を提供していると思う生徒 92%</p>	<p>(進路課)</p> <p>A</p> <p>・進路啓発事業に加え、12 月に 1、2 年合同の大学説明会を実施し、Classi でインターンシップ関連情報も直接案内した。文理選択が 1 年次であることから、9 月の進路別説明会の時期や内容の見直しが必要である。</p>

		<p>・進路実現に向けて努力している生徒 70%以上※</p>	<p>(進路課 学年部：A)</p> <p>・進路実現に向けて努力している生徒 80.2%</p>		<p>(進路課)</p> <p>・土曜講座の申込率は1年 96.6%、2年 30.5%、3年 87.1%。2年生は時期を修学旅行後に変更したが、大きな改善は見られなかった。</p> <p>(各教科)</p> <p>・講習内容や重点ポイントを学年部で共有し、習熟度に応じた少人数指導を行った。</p> <p>・講習では実践的な教材を用い、通常より高度な内容に踏み込んだ指導が可能となった。</p>
エ	<p>課題発見・解決力、論理的思考力・規範的判断力、国際感覚等を備えた人材を育成するための探究的な学び・協働的な学びの深化</p>	<p>・授業が論理的思考力等を高めることにつながっていると答える生徒 90%以上※</p> <p>・英語力や国際性が高まったと考える生徒の割合 70%以上※</p>	<p>(教務課 研修課 学年部 各教科：A)</p> <p>・授業に論理的思考力を高める工夫が感じられる」と回答した生徒は 91.6%で目標達成。昨年度よりも 6.9 ポイント上昇。</p> <p>(研修課：A)</p> <p>・「本校での学習活動や行事への参加などを通じて、英</p>	A	<p>(各教科)</p> <p>・共通テスト対応の高レベル問題に取り組む機会を今後も増やしたい。</p> <p>・基礎知識の定着を重視するあまり思考・判断・表現まで扱えていないことが課題であり、既存知識を生かして応用に取り組み、時間をかけて思考し表現する場面を設ける必要がある。</p> <p>・地歴公民科は資料を多用するため、提示方法や授業運営の改善が必要であり、授業の狙いを生徒に明確に示すことが重要だと感じた。</p> <p>・論理的思考力育成のため、ALT 等によるディベート中心の授業を行い、定期考査ではエッセイ形式を導入して主張を根拠とともに述べる力を養った。</p> <p>(教務課)</p> <p>・一昨年比 13%、昨年度比 6.9%の上昇で目標を達成した。一定の成果が見られ、教職員の指導の賜物といえる。</p> <p>(研修課)</p> <p>・観点別評価に基づく指導が定着し、思考ツールを用いた授業の増加も反映していると考えられる。</p> <p>(研修課)</p> <p>・初めての台湾修学旅行での充実した学校交流の他、英語</p>

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区協議会および合同研修会参加者の満足度 70%以上※ 	<p>語力や国際性が高まった」と回答した生徒 78.0%</p> <p>(管理職：A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り年間3回の地区の協議会を実施した。満足度も第1回は100%、第2回は90%を越えた。 	<p>速読・聴解極意講座、オーストラリア研修(Global Expedition)、希望者向けの多様な機会を提供した。台湾陽明高校との交流では部活動単位の交流も生まれた。</p> <p>(各教科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内で実施しない英語外部検定について、継続的に指導を行った。 ・ ALTの授業で異文化や海外の習慣を英語で学ぶ機会を設け、生徒の視野を広げた。 <p>(管理職)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究担当者と地元企業による協議会を開催し、事業計画の課題を共有した。今後は学校間の協力強化と相互支援の具体化を検討したい。
<p>オ</p>	<p>家庭や地域等との連携を基盤とした信頼される学校づくり・開かれた学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者が参加する行事の実施 年5回以上 ・ 入学させて良かったと答える保護者 80%以上※ ・ 一日体験入学の参加中学生1000人以上 ・ 情報発信に熱心であると答える保護者70%以上※ ・ 地域や社会の課題に対する意識が高まった生徒 60%以上※ ・ ボランティア活動を実施する部活動 80%以上 ・ 年3回の協議会開催 	<p>(総務課：B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者が参加する行事年間5回実施 ・ 入学させて良かったと答える保護者 96.6% <p>(教務課：A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一日体験入学に参加した中学生は1067人 <p>(情報室：A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信に熱心であると回答した保護者が90%となった。 <p>(総務課 研修課：B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の行事(防災訓練など)や奉仕活動、社会貢献活動に参加したり、地域の取組に関心を持つたりすることにより、地域の課題や社会問題を意識している。と回答した生徒40.3%。 <p>(管理職：A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年3回(5月・11月・2月)協議会を開催し、今年度は委員に授業を見学いただき、意見・感想を伺った。 	<p>A</p> <p>(総務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者参加は、紫苑祭、三島サンバ、並木清掃、模試監督、進路講演会。保護者が参加できる行事を増やすことを検討。 <p>(教務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一日体験入学、オープンスクールともに、多くの中学生が参加してくれた。 <p>(情報室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公式HPやInstagramで積極的に情報発信した。今後は公式HPの情報整理と更新頻度の向上を図りたい。 <p>(総務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意識向上のため、行事や活動内容を事前に教員・生徒へ周知する必要があるかもしれない。 <p>(管理職)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校の魅力向上に向け、各立場から意見を得た。今後は運営協議会委員や学校外の方々と連携し、共に取り組める教育活動を検討したい。

様式第3号

カ	<p>安全・安心な学校につながる学習環境の整備・充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめに関するアンケート年3回実施 ・体罰に関する指導案件なし ・SNS 関連トラブル数前年比減 ・安全対策がしっかりとできていると答える保護者 70%以上※ ・交通事故件数 前年比減 ・AED 講習会等の実施 ・ニーズに即した予算の執行 	<p>(生徒課：A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートは2回実施 ・体罰に関する指導案件は0件だった。 ・SNS 関連トラブルによる生徒指導案件は0件だった。 <p>(総務課：B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全対策がしっかりとできていると答える保護者72% <p>(生徒課：B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車交通事故3件(いずれも軽傷) ・歩行中の事故1件(重傷) <p>(保健課：A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員全員に応急手当、AED講習会を実施した。 <p>(事務部：A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算逼迫の状況下で最小限ではあるが、学校運営に支障なく執行できた。 	B	<p>(生徒課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任との二者面談でも、いじめに関する情報を収集した。(相談室) ・明確な SNS トラブルは確認されなかった。 ・当事者が「いじめ」と認識しない「いじり」も発展する可能性があるため、小さなトラブルも見逃さず対応する必要がある。 <p>(総務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに向上するための工夫が必要。 <p>(生徒課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車だけでなく、歩行中についても注意喚起が必要。 <p>(保健課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時を想定した講習会を実施できている。災害時を想定した訓練の実施も実施していきたい。 <p>(事務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中、計画的な整備が不可欠である。
キ	<p>コンプライアンスの徹底と学校における働き方改革の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の不祥事なし ・監査における指摘事項なし ・時間外勤務時間の減少 ・夏季休暇取得率100% 	<p>(管理職：A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不祥事案件0件。職員会議後には毎回、不祥事根絶を目的とした研修を実施した。さらに、長期休業中には県教育委員会が作成したコンプライアンスに関する動画を視聴し、服務規律及び法令遵守への意識向上を図った。 <p>(事務部：A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監査における指摘事項は無かった。 <p>(管理職：B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の勤務時間管理システムの入力を促し、前年の月の時間外を下回るよう声掛けしたが、勤務時間は昨年と大きくは減少しなかった。 	B	<p>(管理職)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も定期的に研修を行っていく。内容については、職員一人ひとりが自分事として捉えられるような取組を今後検討していきたい。 <p>(事務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も適正な事務処理を継続する。 <p>(管理職)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改善アンケートを通じて不要な業務を明確化するなどの具体的な提案を踏まえ、各担当分掌において、実施可能な内容から順次検討を進めていく。また、生成AIを利用し業務の効率化を図っていく

様式第3号

			<ul style="list-style-type: none">・教員の夏季休暇取得率は100%であった。		<ul style="list-style-type: none">・計画的に休暇が取れるよう引き続き声掛けを行っていく。
--	--	--	---	--	---